



岡山県倉敷市でメガソーラー発電所の稼働開始

～JFE グループの技術力を結集し施工～

JFE エンジニアリング株式会社（本社：東京都千代田区、社長岸本純幸）は、このたび岡山県倉敷市に、自ら発電事業を行う大規模太陽光発電所（メガソーラー）「鶴の浦ソーラーパワー」を完成し、10月2日に竣工式を執り行いましたので、お知らせします。

鶴の浦ソーラーパワーは、当社の100%出資により設立された特定目的会社のJFEソーラーパワー倉敷株式会社（所在地：岡山県倉敷市、社長：松川裕二）が、JFEスチール株式会社（所在地：東京都千代田区、社長：林田英治）が同地区に保有する旧社宅跡地に設置したものです。発電所の設備容量は7MWであり、年間発電量は650万kWhを想定しております。

このメガソーラーは、JFEスチールの西日本製鉄所内で数多くの電気工事を手掛けているJFE電機株式会社（所在地：東京都港区、社長：菱沼至）が請負い、JFEグループの技術を結集して建設されました。

架台には、JFEスチールグループでメガソーラー向けに新たに開発した超軽量鋼製架台システム「JFEソーラーアレイ™」を採用しています。この架台は、風洞実験など各種検討によって極限までの軽量化をすすめたほか、素材にJFE鋼板株式会社（所在地：東京都品川区、社長：今村晴幸）の高耐食性溶融めっき鋼板「エコガル®」を使用して長期耐久性を確保するとともに、基礎には鉄鋼スラグ水和物固化体「フェロフォーム®」を使用してプレファブ化し、施工合理化、環境負荷低減も実現したものです。

当社グループは、今後も多様化する電力確保のニーズに対して、太陽光のほか、地熱やバイオマス等を活用した発電の事業化を進めていくとともに、これらのプラントの技術・ノウハウを他の事業者提供することで再生可能エネルギーの普及に取り組んでまいります。

■ JFE ソーラーパワー倉敷の事業概要

施設名称	鶴の浦ソーラーパワー
設置場所	岡山県倉敷市鶴の浦(JFE スチール 社宅跡地)
事業主体	JFE ソーラーパワー倉敷株式会社(出資:JFE エンジ 100%)
発電設備容量	7 MW
想定年間発電量	約 650 万 kWh

■ 鶴の浦ソーラーパワーでの JFE グループ各社の技術

元請 / 電気工事		JFE 電制株式会社
土木工事		JFE シビル株式会社 (所在地:東京都台東区、社長:藤井善英)
架台	開発 (架台構造・基礎)	JFE スチール株式会社 JFE シビル株式会社 JFE 電制株式会社
	開発(架台材料)	JFE 鋼板株式会社
	設計・施工	JFE シビル株式会社
フェンス		JFE 建材フェンス株式会社 (所在地:東京都江東区、社長:三浦憲一)



■ 写真左: 鶴の浦ソーラーパワー全景

■ 写真右: 竣工式に出席した JFE スチール 西日本製鉄所倉敷地区 北野嘉久 所長(左端)
中国電力 上席執行役員 森脇雄二 岡山支社長(左から 2 人目) 伊東香織 倉敷市長(中央)
岡山県産業労働部 高橋邦彰 部長(右から 2 人目) 当社狩野久宣 代表取締役副社長(右端)

本件に関するお問い合わせは下記にお願いいたします。
JFE エンジニアリング株式会社 総務部広報室